

おもてなしCHIBAプロジェクト in 九十九里・外房 ～ひまわりと笑顔で結ぶオリンピック～

1 概要

県民参加により、東京オリンピック・パラリンピックに向けた「おもてなし」の機運を高めるため、「おもてなしCHIBAプロジェクト」の第二弾として、九十九里・外房地域の子どもたちが栽培した「ひまわり」の種をもとに、大会開催時にサーフィン会場周辺等を装飾して、「おもてなし」の心で選手・関係者、観客を迎える。
 (「東京2020参画プログラム」認証)

「おもてなしCHIBAプロジェクト」

県では、東京オリンピック・パラリンピックに向けて、県民の「おもてなし」の機運を高めるための運動を「オール千葉」で取り組んでいくこととしている。

その第一弾として、平成29年7月から9月にかけて、ビーチクリーンキャンペーンを実施した。(大会が開催される平成32年度まで継続して実施予定)

2 実施概要

- (1) 期 間 平成30年度～平成32年度
 (2) 主催／共催 千葉県／九十九里・外房地域16市町村

【九十九里・外房地域16市町村】

銚子市、旭市、匝瑳市、横芝光町、山武市、九十九里町、大網白里市、白子町、長生村、一宮町、いすみ市、御宿町、勝浦市、鴨川市、南房総市、館山市

(3) 実施内容

- ① 一宮町(保育所)で収穫された「ひまわり」の種を九十九里・外房地域16市町村の幼稚園・保育所、小中学校、高校、特別支援学校等に配付し、学校の花壇等で育てて種を収穫し、次年度さらに多くの学校等に配付することで、参加の輪を広げていく。
- ② 大会開催時、JR上総一ノ宮駅前ロータリー、会場までの輸送ルート、会場周辺等にひまわりを植栽、装飾し、「おもてなし」の心で選手・関係者、観客を歓迎する。

3 スケジュール

【平成29年度】～事業概要の決定・発表～

知事が、一宮町立保育所の園児から、ひまわりの種を受け取るセレモニーを実施(3/22)

【平成30年度】～育成開始～(16市町村の学校等においてひまわりの育成開始)

【平成31年度】～育成主体の拡大～(学校、事業者・団体等、育成主体を拡大)

【平成32年度】～大会における「おもてなし」～(会場周辺等で植栽、装飾)

4 大会後の展開

- ・16市町村の学校・地域において、「おもてなし」のひまわりを継続して育成する。
- ・会場周辺においても、本取組を地域の自主的な活動につなげられるよう、関係者と検討していく。